

## 関連刊行文献（発行年順）

掲載は発行年順。レッド・ページにかかる関心、研究進展の様子が読めるよう意識しての構成にした。収録は報道界関連を軸に、主に国会図書館での検索によって入手できた刊行文献ということになる。

7・28後1、2年して雑誌、とくに月刊『文藝春秋』が何度か特集を組んでいる。ただ研究者の目は厳しく、全体の雰囲気は読みとれるが、史料価値には乏しいとの評が定着している。中で松本清張の論考はのち単行本にもなっているが、全体としては研究者の評は当たっている。

またまった検証では60年、同志社大学・山本明の「一九五〇年新聞・放送レッド・ページ覚え書」が最初と思われる。実証性に重みがあり、後続の基礎となっている。7・28から10年にしての論考。あとがきに同大人文科学研究所の研究助成金による研究の一部とある。

以降、竹前栄治、新井直之、塩田庄兵衛、平田哲男、三宅明正、明神勲の著作が全体像の理解を広げ、深めてくれる。松本清張の論考「黒の追放と赤の烙印」も、独特の臭みはあるが、歯切れよく理解を助ける。

当事者による記録では、「レッドページ 失われた人権と報道の自由」「生きること学ぶこと」「記録集 レッド・ページ」「一九五〇年七月二八日 朝日新聞社のレッド・ページ証言録」「自処超然」の中身が濃い。労組史では「朝日新聞労働組合史」の腰がよく入っている。第三部第三で触れたがレッド・ページ30年にあたる一九八〇年に集中の感はある。

このほか、年鑑等への部分記載ながら外せないものを収録した。たとえば法政大学・大原社会問題研究所編の「日本労働年鑑」は一次情報あるいは限りなく一次情報に近いものをよく拾っている。また、「連合国の日本管理方策」はGHQの発した初期の主要指令をほとんど収録している。

収録にあたっては、単独著作は刊行名、著者（编者）名、発行者名、Ⅱを付して刊行年の順。雑誌等収録の論考等は、論考等名、著者名、Ⅱを付して収録誌名および号数、さらにⅡを付して刊行年の順に記した。旧字体は原則として現字体に直した。



- 「連合国の日本管理方策」金久保通雄、寫信正、ジープ社Ⅱ1946
- 「特別審査局に与う」滝内礼作Ⅱ「日本評論」49年12月号Ⅱ1949
- 「新聞労連中執決定」Ⅱ機関紙「新聞労連」50年8月20日号Ⅱ1950
- 「毎日労組速報」Ⅱ機関紙「われら」第52号Ⅱ1950
- 「新聞記者の告白」不破新ほか、三一書房Ⅱ1950（6月15日発行）
- 「日本新聞年鑑」1951年版Ⅱ1951
- 「思想と言論の自由に関して」（知識人の会幹事会声明）Ⅱ「世界」51年1月号Ⅱ1951
- 「私の見た共産党」インボデン、朝日新聞社Ⅱ1951
- 「中央労働委員会不当労働行為事件命令集」第3集、第4集、中央労働委員会事務局Ⅱ1951
- 「日本労働年鑑」第24集・1952年版、法政大学大原社会問題研究所編、労働旬報社Ⅱ1952
- 「日本新聞協会報」1952年6月4日号Ⅱ1952
- 「続『風にそよぐ葦』—占領下の新聞」島村正人Ⅱ「改造」52年増刊号Ⅱ1952
- 「新聞街に巻起る赤旋風」赤沢新一Ⅱ「文藝春秋」52年12月増刊、Ⅱ1952
- 「占領下の朝日新聞」長谷部忠Ⅱ「文藝春秋」54年臨時増刊32巻16号特集・読本現代史Ⅱ1954
- 「高知新聞五十年史」Ⅱ1954
- 「政治学事典」平凡社Ⅱ1954
- 「読売新聞八十年史」読売新聞社Ⅱ1955
- 「朝日記者レッド・ページ事件」梶谷善久Ⅱ「法律時報」27巻9号Ⅱ1955
- 「日本新聞協会十年史」日本新聞協会Ⅱ1956
- 「十年の歩み 毎日労組の記録」毎日新聞社労働組合（1957年に毎日新聞労働組合に改名）Ⅱ1956
- 「戦後日本労働運動史」斎藤一郎、三一書房Ⅱ1956

- 「占領下の新聞」長谷部忠 〓 「週刊朝日」(奉仕版 58年5月14日号 〓 1958
- 「日本の汚点レッド・ページ」 〓 「文藝春秋」 59年6月号 〓 1959
- 「一九五〇年新聞・放送レッド・ページ覚え書」山本明 〓 同志社大学「人文学」第50号 〓 1960。のち「現代ジャーナリズム」(雄渾社 1967年)に収録
- 「権力と新聞の自由」小椋広勝 〓 「思想」 60年8月号 〓 1960
- 「黒の追放と赤の烙印」松本清張 〓 「文藝春秋」 60年11月号、〓 1960。のち「日本の黒い霧」第11話に収録
- 「新聞労働者のあゆみ」新聞労連結成10周年を記念して」新聞労連 〓 1960
- 「新聞の自由と暴力」江尻進 〓 「思想」 60年6月号 〓 1960
- 「毎日新聞労組機関紙『われら』」第172号 〓 1961
- 「共同通信十五年の歩み」共同通信社、1961
- 「戦後日本史Ⅱ」歴史学研究会編、青木書店 〓 1961
- 「思想・良心および言論の自由」清水英夫、一粒社、1961
- 「石も黙っていられない」梶谷善久、労働旬報社 〓 1965
- 「戦後日本政治史Ⅳ」信夫清三郎、勁草書房 〓 1967
- 「毎日労組二十年史」 〓 1967
- 「資料戦後学生運動」第1巻、三一書房 〓 1968
- 「戦後日本の歴史 上」藤井松一・大江志乃夫、青木書店 〓 1970
- 「アメリカ対日労働政策の研究」竹前栄治、日本評論社 〓 1970
- 「全訂 法学辞典」日本評論社 〓 1971
- 「新聞戦後史」新井直之、粟田出版会 〓 1972 (のち同名で双柿社 1979年刊)
- 「ニューデューラーの退場」渡辺喜蔵 〓 「共同研究・日本占領」思想の科学研究会編、徳間書店 〓 1972
- 「毎日新聞百年史」 〓 1972
- 「日本共産党の五十年」 〓 「前衛」 1972年8月臨時増刊 〓 1972
- 「やむなくGHQに服従」長谷部忠 〓 「潮」 73年8月号 〓 1973
- 「総評二十年史」上巻、労働旬報社 〓 1974
- 「証言 戦後労働組合運動史」高梨昌編著、東洋経済新報社 〓 1975
- 「レッド・ページ秘話」田窪俊吉 〓 『広島市職労三十年史』所収 〓 1975
- 「昭和特高弾圧史」太平出版、京都「学生評論」 〓 1975
- 「読売争議」増山太助、亜紀書房 〓 1976
- 「日本の歴史三一戦後変革」大江志乃夫、小学館 〓 1976
- 「思想の自由」長谷川正安、岩波書店 〓 1976
- 「特高警察黒書」新日本出版社 〓 1977
- 「共同研究 日本占領軍 その光と影」思想の科学研究会編、徳間書店 〓 1978
- 「或る戦後史―『朝日新聞』の軌跡」田中哲也 夕文社 〓 1978
- 「レッドページ 失われた人権と報道の自由」梶谷善久編著、図書出版社 〓 1980
- 「生きること学ぶこと」土井正興、三省堂、三省堂選書 〓 1980
- 「新聞労働運動の歴史」新聞労連、大月書店 〓 1980
- 「占領戦後史」竹前栄治、双柿社 〓 1980
- 「ドキュメント放送戦後史」松田浩、双柿社 〓 1980
- 「戦後政治裁判史録」第一巻、田中二郎他編、第一法規 〓 1980
- 「一九五〇年七月二八日 朝日新聞社のレッド・ページ証言録」朝日新聞社レッド・ページ証言録刊行委員会編、晩聲社 〓 1981
- 「共同通信社三十五年」 〓 1981
- 「戦後労働改革 GHQ労働政策史」竹前栄治、東大出版会 〓 1982
- 「朝日新聞労働組合史」 〓 1982
- 「レッド・ページ」塩田庄兵衛、新日本出版社 〓 1984
- 「女性記者―新聞に生きた女たち」春原昭彦ほか、世界思想社 〓 1994
- 「レッド・ページ論」(若手戦後史研究会・伊藤悟) 〓 「現代史サマーセミナー通信」第2号所収 〓 1984
- 「日本占領―GHQ高官の証言―」中央公論社、1988
- 「なぜ、レッド・ページ史の研究か」 〓 平田哲男「歴史評論」 8月号、歴

史科学協議会 1989

「日本占領と法制改革」オブラー、日本評論社、1990

「聞書 電産の群像」河西宏裕、平原社、1992

「レッド・ページとは何か―日本占領の影―」三宅明正、大月書店 1994

4

「GHQ指令総集成」竹前栄治、エムティ出版 1994

「日本共産党の七十年」日本共産党中央委員会、新日本出版社 1994

「信念のジャーナリスト・三上正良」三上正良記念会 1994

「読売労組五十年史」読売新聞労働組合 1995

「毎日新聞労働組合五十年史」 1995

「戦後日本共産党私記」安東仁兵衛、文春文庫 1995

「自処超然」寫信正 1996

「宮崎日日新聞労働組合五十年史」 1996

「GHQ民政局資料 占領政策 第11巻 講和への準備過程」 小倉裕児編 丸善 1999

「吉田マツカ―サー往復書簡集―1945～1951、法政大学出版社 2000

2000

「毎日の3世紀」下、毎日新聞社 2002

「レッド・ページの史的究明」平田哲男、新日本出版社 2002

「21世紀へつなぐ言葉」小林登美枝、ドメス出版 2004

「アメリカの占領政策とレッド・ページ」吉岡吉典 2006年

3月号

「占領期の朝日新聞と戦争責任 村山長拳と緒方竹虎」今西光男、朝日新聞社 2008

「最大の人権侵害 RED PURGE」レッド・ページ60周年記念のつどい―

レッド・ページ反対全国連絡会 2010

「小林登美枝没後10年のつどい―うけつぐ想いを今―」平塚らいてうの会 2014

「戦後史の汚点 レッド・ページ」明神勲、大月書店 2015

「語りつこう 戦後最大の人権侵害 レッド・ページ 昔の話ではありま

せん」レッド・ページ65周年記念のつどい―レッド・ページ反対全国連絡会 2015

「戦後資料・マスコミ」日高六郎編

「『復讐』を勝取って」小原正雄 季刊・労働法 29号